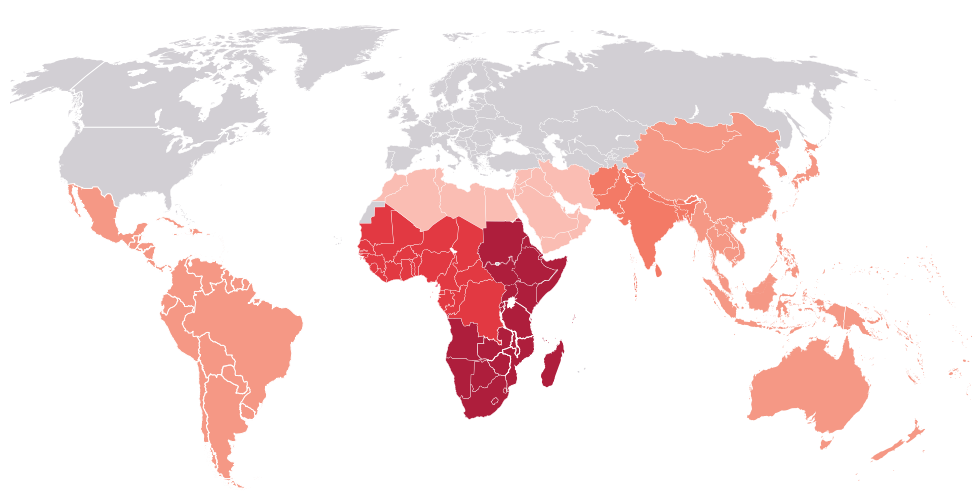


子どもとHIV/エイズに関する世界の状況報告

地域別のHIVと共に生きる0-19歳の子どもと若者の数(2018年)



地域	予測値	下位推定値	上位推定値	
東部・南部アフリカ	1,800,000	1,300,000	2,400,000	
西部・中部アフリカ	640,000	440,000	900,000	
南アジア	100,000	77,000	160,000	
東アジアと太平洋諸国	97,000	71,000	130,000	
ラテンアメリカとカリブ海諸国	76,000	58,000	100,000	
中東と北アフリカ	6,100	4,400	10,000	
東ヨーロッパと中央アジア	-	-	-	
西ヨーロッパ	-	-	-	
北アメリカ	-	-	-	
合計	2,800,000	2,000,000	3,800,000	

出典：UNAIDS2019推計

注意：この地図は、国連として何らかの立場を公式に表明するものではない。各国は、ユニセフの9つの地理的地域に分類されている。東ヨーロッパと中央アジア、北アメリカ、西ヨーロッパにおけるHIVと共に生きる子どもと若者の数に関するデータはない。上位推定値、下位推定値は統計的信頼区間を参照している。



2018年

10-19歳の若者
19万人が新たに
HIVに感染。
そのうち3/4が
女の子だった。



HIV感染のリスクが
高い赤ちゃん10人に
6人が、生後2カ月
以内に検査を受けて
いる。早期の診断が
赤ちゃんの生存率を
高める。



2018年

HIVと共に生きる
0-14歳の子ども
79万人が、治療
を受けていな
かった。



2018年、HIVと共に
生きる0-19歳の10人中
9人が、サハラ以南
のアフリカで暮らす
子どもたちだった。